

関西支部シニア会活動報告

行事名	シニア会と学生会との交流会
回次	第13回
開催日	2018年10月28日(日)
場所	大阪産業大学梅田サテライトキャンパス(大阪駅前第3ビル19階)
参加人数	31名
行程	<p>上記会場において、午後1時30分から5時30分まで開催。詳細な会次第は別紙のとおり。</p> <p>参加者は、シニア会から8名(城野政弘会長、藤田勝久副会長、溝口孝遠幹事、中川平三郎委員、仲津英治委員、谷川雅之委員、土井健志委員、林和宏委員)、学生会から山本恭史学生会幹事長と学生22名(25名出席予定で3名が欠席)の合計31名。林委員の司会により進行。溝口シニア会幹事による開会の挨拶に続いて、城野会長による基調講演「金属疲労の研究と安全・安心な社会」、シニア会メンバー3氏(中川氏、仲津氏、谷川氏)による自己紹介を兼ねた経験談並びに提言がなされた。続いて、学生からの提言として、関西大学大学院生の澤村慧氏が「現代社会に求められる技術者とは」と題して、また大阪電気通信大学大学院生の向井誠嗣朗氏が「学生が考える現代社会における技術者の働き方」と題して発表を行った。その後、しばらく休憩を取ってからグループ別討論会に移行。シニア会の8名に学生会担当幹事長にも加わってもらい、A～Dの4グループに分かれて自由討論を行った。約1時間の討論の後、総括に移り、各グループの学生代表からグループ内での討論の内容等についての報告を受けて、全体で質疑応答、意見交換を行った。この後、関西大学大学院生の多田朱里氏の閉会挨拶があり、参加者全員での写真撮影を行って終了。</p>
感想	<p>溝口幹事の開会のあいさつでは、シニア会の活動内容等の説明や見学会への学生の参加の呼びかけが行われた。城野会長の基調講演では、ご自身の研究分野である「金属の疲労」について、最初に機械の破損、破壊の70%ほどが金属の疲労が原因であること、歴史的な機械の破損、破壊事故の原因究明から、疲労の研究が進展していったことを話された後、永年にわたる研究を通してのご自身の成果について紹介された。疲労現象の解明は大変に難しいものであり、講演の内容は学生諸君にとって、大いに参考になったのではないかと。</p> <p>シニア会メンバー3氏による自己紹介を兼ねた提言では、それぞれの技術者、研究者としての経歴を説明される中で、まず中川氏は、子供のころから機械工学を学ぶことを目指していたこと、大学での研究者を希望して、籍のあるところを探していくつかの大学を渡り歩いたことなどを紹介され、楽しく働くことが大切である、与えられた仕事を一生懸命にやること、得意技術を習得し極めることが大切である等の提言がなされた。仲津氏は、JR西日本での新幹線車両の開発設計において、翼形パンタグラフの開発では騒音抑制にフクロウの羽根にヒントを得たこと、トンネル圧力波の解決にはカワセミのダイビングからヒントを得たことなど、大変に興味のある事例を紹介された。学生諸君にとっては、自然界に学ぶという大きな刺激をもらったのではないかと。谷川氏は、造船という浮き沈みの激しい業種におられたことを踏まえて、企業においては研究開発が最重要であること、成果は考え方×熱意×能力(稲盛氏のことば)であり、企業人としての行動姿勢は、もっと外に出ること、事前に準備すること、会って話をすること、約束を守ること、挑戦を続けることが大切であると話されたが、これらは今後技術者として、また社会人として活躍する上での学生諸君にとっての大きな指針となるものと思われる。ここ数年、シニアからの提言には4名をお願いしていたため、一人あたりの持ち時間が不足気味の感があったが、今回は3名でお願いしたことで、この問題が少し改善されたと思っている。続いての学生からの提言では、まず関西大学の澤村氏から、現在大学では圧電素子の誘電正接増幅による振動絶縁性能の向上について研究を行っているが、目指すべき技術者像として、「知識(専門分野の知識+それ以外の分野の知識)+コミュニケーション能力+責任感」を考えているとの発表があり、大阪電気通信大学の向井氏からは、種々の理由・事情で紆余曲折があり、他者とは年齢的に大分遅れて現在に至っていること、大学ではロボットの研究を行っていること等の発表があった。休憩の間に、和やかな雰囲気の下でグループ別の討論ができるようにと、軽食、茶菓の準備をして、グループ別自由討論に移ったが、どのグループとも和やかな雰囲気、活発な討論、意見交換が行われた。シニア会メンバーにとっても学生諸君にとって</p>

も、大変に有意義な交流会であったと思う。



写真1 溝口幹事の開会あいさつ



写真2 城野会長による基調講演



写真3 シニアによる自己紹介を兼ねた提言



写真4 学生による提言



写真5 グループ別討論



写真6 参加者全員の集合写真